科目名	障がい者スポーツ論　　Person with a disability sports						
科目担当者	古城 梨早　　KOJOU Risa						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義／実技	開講学期	後期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科［総合教育科目　スポーツ・健康］ 経営学部・経営学科［総合教育科目　スポーツ・健康］					ディプロマポリシーとの関連	(1)(2)
授業の概要	パラスポーツの理解・普及を目指す為、体育・スポーツに必要な基本的知識に始まり、障がい者の競技スポーツにおける現状と発展への課題を探っていく。 パラスポーツ・レクリエーションを理解し、体験する。						
授業の到達目標	①「体育・スポーツ」に関する基本概念と、障がい者が取り組むパラスポーツを把握し理解する。 ②「初級 障がい者スポーツ指導員」の資格を取得し、将来的に実践できる人材を目指す。						

授業計画・内容	1	スポーツのインティグリティと指導者に求められる資質
	2	障がい者スポーツ（パラスポーツ）の意義と理念
	3	コミュニケーションスキルの基礎
	4	障がいのある人との交流
	5	障がい者スポーツ（パラスポーツ）に関する諸施策
	6	障がい者スポーツ（パラスポーツ）推進の取り組み
	7	安全管理
	8	各障がいの理解（身体障がいの理解）―視覚・聴覚・音声・言語・そしゃく機能障害―
	9	各障がいの理解（身体障がいの理解）―肢体不自由・内部障害―
	10	各障がいの理解（知的障がいの理解）
	11	各障がいの理解（精神障がいの理解）
	12	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫（1）―理論―
	13	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫（2）―実践―
	14	全国障がい者スポーツ大会の概要
	15	まとめ　小テスト・障害者初級スポーツ指導員制度に関する説明

授業外学修 (事前学修)	パラスポーツの概要やルールについて調べておく（毎週 2 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	授業に関して理解したことをまとめ、理解を深める（毎週 2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	1 授業の取り組み状況	50%	①
	2 テスト	40%	①②
	3 自主的な学外活動	10%	②

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	なし
参考文献	「障害者スポーツ（指導教本）初級・中級 2020 年改訂カリキュラム対応」 （公財）日本障害者スポーツ協会 「障害者スポーツ科学」日本アダプテッド体育スポーツ学会
その他	